

母性看護学【母性看護学援助論Ⅰ】

担当教員	高橋 和江 土谷 奈保子	所 属	平鹿総合病院 専任教員
対象学年/開講時期	第2学年/後期	単位数(時間数)	1単位(30時間)
履修の目的	1) 周産期異常の原因、症状、治療について学ぶ 2) 妊娠期の母児の生理的経過を知り、母児に必要な援助方法を理解する 3) 妊娠期における異常に対して、必要な援助方法を理解する		
授業の形式	講義、演習、課題学習(グループワーク)形式で行い、視聴覚教材も活用する。		
成績評価の基準等	出席・課題学習・レポート・授業態度・テスト(2回)・発表等で総合的に評価する。		

【教科書・参考図書】

番号	書 名	発行所
①	看護学テキスト NICE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 母と子そして家族へのよりよい看護実践	南江堂
②	カラー写真で学ぶ 新生児の観察と看護技術	医歯薬出版

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回	ガイダンス 妊娠期における看護	1) 妊娠のメカニズム	①	土 谷
第2回		2) 胎児の成長・発達 3) 胎児付属物の構造と機能	①	
第3回 第4回		4) 妊婦の身体的変化・心理社会的変化	①	
第5回 第6回		5) 妊婦と胎児のアセスメント	①	
第7回		6) 妊婦への援助	①	
第8回		7) 周産期の女性が受ける母子保健サービス	①	
第9回		8) ハイリスク妊婦への看護 妊娠悪阻、切迫流・早産妊婦、 妊娠高血圧症候群、糖代謝異常妊婦	①	
第10回		周産期に子どもを 亡くした女性と家族への援助	1) 周産期の喪失と悲嘆の特徴 2) 周産期の喪失が家族に及ぼす影響 3) 両親へのケア	
修 了 試 験				
第11回	周産期の異常(疾患)	1) 妊娠期の異常	①②	高 橋
第12回		2) 分娩期の異常		
第13回		3) 産褥期の異常		
第14回 第15回		4) 新生児の異常		
修 了 試 験				

*この科目は、実務経験のある教員による科目です。